

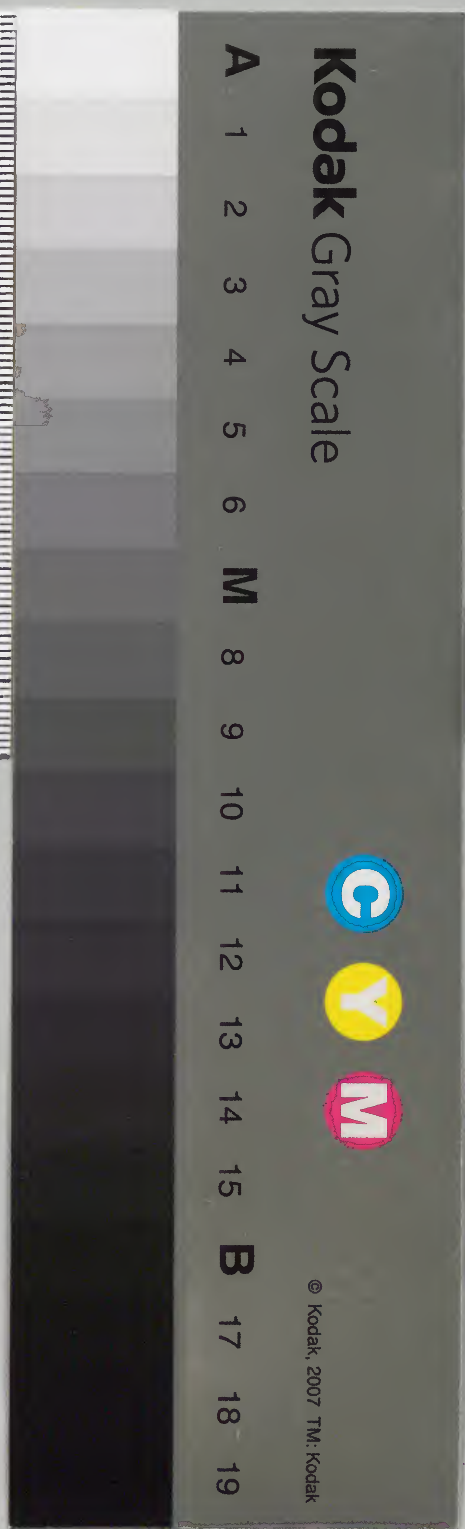
知顯集



和書門			
二	五	四	六一
六	八	函	號
三	冊	架	類

內閣文庫	
二	二
五	五
四	四
六	六
一	一
函	冊
架	號
類	和書

內閣文庫	
番號	和 25461
冊數	3 ( 3 )
函號	202 26









































あはれなる御心にて  
おぼつかたき御心にて  
まはらばし御心にて  
すまはらばし御心にて  
あはれなる御心にて  
おぼつかたき御心にて  
まはらばし御心にて  
すまはらばし御心にて  
あはれなる御心にて  
おぼつかたき御心にて  
まはらばし御心にて  
すまはらばし御心にて

あはれなる御心にて  
おぼつかたき御心にて  
まはらばし御心にて  
すまはらばし御心にて  
あはれなる御心にて  
おぼつかたき御心にて  
まはらばし御心にて  
すまはらばし御心にて  
あはれなる御心にて  
おぼつかたき御心にて  
まはらばし御心にて  
すまはらばし御心にて











のことうきくしりるまのふりしん  
人まゆしおんまゆり人た  
れんまゆりまゆりこまゆり  
のふこくはく<sup>拒武</sup>しりるまのふりしん  
おし<sup>品</sup>まゆり<sup>武部</sup>まゆり<sup>解</sup>まゆり<sup>小部</sup>まゆり<sup>小部</sup>  
まゆりまゆりまゆりまゆりまゆり  
おまゆりまゆりまゆりまゆりまゆり  
おまゆりまゆりまゆりまゆりまゆり

かばしあぬおしり  
しりるまのふりしん  
まゆりまゆりまゆりまゆり  
まゆりまゆりまゆりまゆり  
まゆりまゆりまゆりまゆり  
まゆりまゆりまゆりまゆり  
まゆりまゆりまゆりまゆり  
まゆりまゆりまゆりまゆり  
まゆりまゆりまゆりまゆり  
まゆりまゆりまゆりまゆり























あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心

雑子

かきりちあき

あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心  
あはれも ちかき心 ちかき心 ちかき心

あまのこ  
あまのこ

伊豆

親王

花

高帝

撫子

紫陽花



Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 12 lines of vertical writing. Several characters are written in red ink (kuzushiji), likely serving as markers or corrections.

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 12 lines of vertical writing. Several characters are written in red ink (kuzushiji), likely serving as markers or corrections. The text includes the characters 長 (long), 州 (state/province), and 家 (household/family).







Handwritten text in cursive style (sōsho) on the right page. The text is written vertically from right to left. Several characters are highlighted in red ink, including '文', '外', '内', '取', and '如'. The text appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or a specific topic.

Handwritten text in cursive style (sōsho) on the left page. The text is written vertically from right to left. A red line is drawn under the first two lines of text, indicating a section or a specific part of the document. The text is similar in style to the right page, suggesting it is part of the same document.

Faint, ghostly handwritten text visible through the paper from the reverse side of the page. The characters are mostly illegible due to fading and bleed-through.



















































すしはゆきふりしつらうはれぬるぬるを  
なめかきつらうはれぬるぬるを  
けしつらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを

つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを  
つらうはれぬるぬるを











そゆゑにわがしき<sup>承伏</sup>をきかすにゆきし  
まらぬちかきしをいふにまらぬにちかき  
はるるにまらぬにまらぬにまらぬに  
おちりしよふにまらぬにまらぬに  
かきしにまらぬにまらぬにまらぬに  
けふまらぬにまらぬにまらぬに  
いふにまらぬにまらぬにまらぬに  
これにまらぬにまらぬにまらぬに  
にまらぬにまらぬにまらぬに<sup>清和</sup>

まらぬにまらぬにまらぬにまらぬに  
おちりしよふにまらぬにまらぬに  
かきしにまらぬにまらぬにまらぬに  
けふまらぬにまらぬにまらぬに  
いふにまらぬにまらぬにまらぬに  
これにまらぬにまらぬにまらぬに  
にまらぬにまらぬにまらぬに<sup>神</sup>























































いふにやうにうらやうに

とぞうこれにうたにうらやうに

あつれとあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ

あつれあつれあつれあつれ























とぞうけつろくをいふも  
なふに年をいふもあまのりくも  
うらひはあまの長を旅郷のむすむたふ  
ひけりまづつれあふくわがまをまう  
とせりすくしのみふとて  
くまひもくわゆる角にたふ  
いりまふたに水もあまのりく  
わらわらふかまのりく  
はらわらふかまのりく  
はらわらふかまのりく

音

詩

くまひもくわゆる角にたふ  
いりまふたに水もあまのりく  
わらわらふかまのりく  
はらわらふかまのりく  
はらわらふかまのりく  
はらわらふかまのりく  
はらわらふかまのりく  
はらわらふかまのりく  
はらわらふかまのりく  
はらわらふかまのりく

水











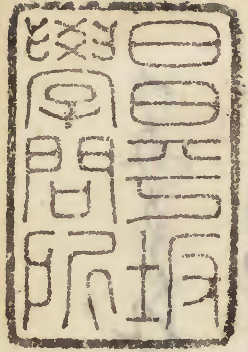








天保十年己亥三月廿校合畢 係直方



元治甲子



